

豊田市消防団に関するアンケート

実施期間：10月20日（金）～10月30日（月） 回答者数：180人

【1】「消防団」を知っていますか？豊田市に消防団があることを知っていますか？

| | |
|----------------|-----|
| 名前だけは知っている | 118 |
| 活動の内容を含めて知っている | 61 |
| 全く知らない | 1 |

【2】消防団についてどのようなイメージをお持ちですか？（複数回答可）

| | |
|----------------------|-----|
| ボランティアとして頑張っている | 104 |
| 訓練や行事への参加が大変そう | 80 |
| 災害現場（火災・風水害など）で頼りになる | 76 |
| 伝統を受け継ぎ、行事や訓練を行っている | 56 |
| 男性で構成されている団体 | 45 |
| 家族に負担がかかってそう | 39 |
| 災害現場での活動が大変そう | 24 |
| 何をやっているかわからない | 17 |
| その他 | 5 |
| イメージはない | 1 |

その他

| |
|---------------------|
| 知識を持った団員は一部のみで少ない。 |
| 飲み会が多い |
| 消防署がない過疎地域のボランティア団体 |
| 火災現場での消火活動は行えない |
| 福島県南相馬市であった報酬未払い問題 |

【3】あなたは消防団の活動をどのように評価されますか？

| | |
|-------------------|----|
| わからない | 20 |
| どちらともいえない | 17 |
| 大きく貢献しており必要不可欠である | 45 |
| どちらかといえば必要である | 73 |
| あまり必要ではない | 17 |
| 必要ない | 8 |

【4】 平常時、あなたが消防団に望む活動は何ですか？（複数回答可）

| | |
|------------------------|----|
| 消火活動（消防署の消火活動の補助を含む） | 96 |
| 地域の防災指導 | 78 |
| 地域行事（お祭りなど）での警備活動 | 77 |
| 年末夜警などの火災予防活動 | 56 |
| 一人暮らしの高齢者への個別訪問による防火指導 | 47 |
| 行方不明者の搜索活動 | 43 |
| 応急手当の普及指導 | 34 |
| わからない | 14 |
| その他 | 3 |

その他

| |
|-------------|
| 地域住民同士の交流 |
| 無い |
| 団員に教育を受けさせる |

【5】 大規模災害時（地震、台風など）あなたが消防団に望む活動は何ですか？（複数

| | |
|-------------------|-----|
| 避難誘導 | 115 |
| 高齢者、障がい者等に対する避難援助 | 96 |
| 消火活動 | 94 |
| 救出、救護活動 | 85 |
| 道路がれき撤去 | 58 |
| 食料等物品の調達 | 56 |
| 避難所の運営 | 56 |
| 情報収集 | 41 |
| 交通整理 | 41 |
| 広報活動 | 20 |
| わからない | 7 |
| その他 | 1 |

その他

| |
|---------------------|
| 知識がないものがあまり動くべきではない |
|---------------------|

**【6】 消防団に勧誘された人が、入団を承諾する理由として主に考えられるものは何だ
と思いますか？**

| | |
|---------------------|----|
| 自らのまちは自らが守ることが必要だから | 89 |
| 地域とのつながりができるから | 83 |

| | |
|-----------------------------|----|
| 使命感、達成感、やりがいを感じるから | 66 |
| 消防団活動が役に立っているから | 39 |
| 他人任せにせず、自分がやらなければいけないとおもうから | 28 |
| 大規模災害時には他の救護が望めないから | 24 |
| わからない | 23 |
| その他 | 10 |

その他

| |
|----------------------------|
| 周囲の雰囲気や圧力で入団せざるを得ないから。 |
| 人付き合い |
| 必ず1回はやらないといけない |
| 先輩からの依頼なので断れない |
| 自治会の組長になれば回って来るから |
| 友人や先輩とのつながり、付き合い |
| お金 |
| 自治区役員からの強い要望 |
| 非常時に自分が社会に対して可能な範囲で貢献できるから |
| 誘われて仕方なく |

**【7】消防団に勧誘された人が、入団を断る理由として主に考えられるものは何だと思
いますか？（複数回答可）**

| | |
|---------------------|-----|
| 仕事が忙しいから | 130 |
| 休みの日も忙しいから | 118 |
| プライベートな時間が減るから | 93 |
| 入りたい人が入れば良いと思うから | 53 |
| 活動が危険だから | 38 |
| 集団行動が苦手だから | 37 |
| 消防団が役に立っているとは思えないから | 24 |
| 消防団の必要性を感じないから | 21 |
| その他 | 7 |
| わからない | 5 |

その他

| |
|--------------------------|
| 活動の本質を分かっていないから |
| 偏見を無くす |
| 人間関係や、古いしきたりやルールに縛られている。 |
| 体力に自信がもてないから |
| サラリーマンでウィークデイは家にいないから |

| |
|--------------------------------|
| 昔からのパワハラ、モラハラが蔓延しているイメージがあります。 |
| 報酬や手当、待遇が悪い |

【8】 どのような取組をしたら消防団に入団する人が増えると思いますか？（複数回答可）

| | |
|--|-----|
| 報酬、手当等の処遇を改善する | 133 |
| 活動や訓練回数を目安を明確化して、入団前と入団後のギャップを無くす | 77 |
| 事業所に消防団活動への理解を求めるなど、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする | 70 |
| 女性、学生団員を増やし、従来のイメージを変える | 48 |
| 自治区イベントに消防団のPRブースを出展するなど、地域住民の消防団活動の理解や認知度を高める | 34 |
| 消防団員を雇用する事業所を表彰するなどの優遇措置を行う | 33 |
| SNS等を活用した広報活動を実施し、消防団のイメージアップを図る | 32 |
| 消防団主催のイベントを実施して、認知度の向上及びイメージアップを図る | 24 |
| その他 | 7 |

その他

| |
|---|
| あまり、必要性を感じない |
| 時給制導入、平服で参加OK |
| 入団者数を増やす必要はないと思う |
| 活動内容を明確にする |
| 訓練後に飲み会があって、面倒くさそうなイメージがある。そういう懇親会のようなものが半強制的でなくなれば抵抗が小さくなるのでは？ |
| 偏見を無くすための体制作りや作業を時間や日で区切って参加しやすくする。作業内容を周知する |
| 消防団内のしぐらみがありそうなイメージをなくす。 |

【9】 女性消防団員の加入促進のためにどのような取り組みが効果的だと思いますか？（複数回答可）

| | |
|--|-----|
| 女性団員に求める役割の明確化（広報指導・避難誘導・避難所運営等） | 116 |
| 女性用施設（女性用トイレ・更衣室等）の整備 | 101 |
| 子どもを連れて参加できるような子育て世代も参加しやすいイベント、研修等を実施する | 86 |
| 女性団員による女性限定の交流イベント・研修・訓練等の開催 | 58 |

| | |
|----------------------|----|
| 報酬以外の加入による優遇措置の充実 | 54 |
| 女性が多く働く職場への加入促進のPR活動 | 32 |
| その他 | 3 |

その他

| |
|-----------------------|
| 女性はやらなくていいと思う |
| 増やす必要ないと思う |
| 子供を無料で預かれるなど |
| 作業範囲の周知 |
| 女性でも入団できるという事をもっとPRする |
| 勤務先や家族の理解が必要 |
| ジェンダーレスへの理解 |

【10】 取り組みについて知っていることはありますか？（複数回答可）

| | |
|------------------------------------|-----|
| 知らない→Q 1 2へ | 108 |
| 市内イベント（産業フェスタ、消防フェスタなど）にブースを出展 | 58 |
| 長時間の拘束となる式典や消防訓練の見直し、各種届出の電子化などを実施 | 15 |
| とよたおいでんバスに「消防団員募集中」のラッピングを施し、市内を運行 | 10 |
| 消防団活動やイベントの様子を消防団公式インスタグラムで紹介 | 9 |

【11】 消防団の取り組みについて、他の人（友人、職場の人など）に話したことがありますか？（複数回答可）

| | |
|----|----|
| ある | 12 |
| ない | 49 |

【12】 消防団への意見や要望がありましたら記入してください。

| |
|---|
| 活動実態、必要性がよくわからない。（必要性を明確にする必要がある。） |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 消防団の目的を現状を踏まえて具体的に明確にする。 2. 完全に自由意志参加とするルールを明確にする。一定の金額の支払いにより入団を免除するルールの地域が存在するのは如何なものか。 3. 団体活動費的なものとは別に、報酬を個人ごとに支給する。 4. 消防団の無い某市を参考に、存続の必要性について評価を行う。 5. 少子化傾向も踏まえ、将来的には廃止方向が妥当だと思う。 |

地域のフェスタなどで、道路の誘導などして下さってるイメージ。

消防団に関する情報がほとんど無いので、身近に団員がいないと加入しようという気持ちにならないと思います。

活動内容をもっと広報などで知らせて欲しいです。

地域の子供会の参加者が減少し保護者の役員活動もまわらなくなっています。学校のPTAもなくなっている地域もある中、その先にあるボランティアのやり手が増えるとは思えないです。団員を増やすこと以外の道で考えなければいけないのかもしれない。

入りたくないのに入らないといけない、帰宅が遅くなる、上下関係が厳しい、と言うことしか聞いたことがないので、そのイメージが強く染み付いています。

防災関係のイベントなどで消防団の取組などを聞いたことがあるが、元気な若手の方の活動をイメージします。地域に根差した活動で、地元生まれ、育ってきた方が多く中心となっているように感じ、就職などで豊田に移住してきた人には縁遠いように思います。

地域のお祭りとかの警備とかしか活動していないと思っていたので、もっと広く活動内容が目に見えると良いと思います。

消防団経験者ですが、消防団訓練を通じて規律正しい人間にさせてもらいました、東海豪雨の時はビックリしましたが、泥だらけになり動き、自分の町は自分たちで守ると意識を植え付けられました。あの時の地域住民に「ありがとうね」と言われた言葉は自分の一生の財産となっています。

身近に消防団というのは見かけることはありません。だいぶ前のことですが、田舎の女性と結婚したら、消防団に入ることになり、それまで勤めていた会社を辞め、転職することになったという人の話を聞きました。土日に休みを取りにくい仕事だったので、やむを得なかったようです。団員が集まって宴会というのも負担だったようです。近所付き合いということもあるようで、気の毒な気がしました。女性の団員については災害時などに必要だと思います。いろいろと女性への配慮のなさを報道で知ることがありますので。普通の人が消防団員として動くというのは、大変な時もあるでしょう。無理なくできるようなシステムを作っていただけるとありがたいです。

サラリーマンさんで休日活動に参加されて頑張っている姿が素敵ですエールを送ります

飲み会などは必要ないと思う。

回数が多すぎる

自治区の若い人が集まりやすい場所になると良い、青年団のようなもので活動が消防だけに限らず、若い世代のコミュニケーションの場となると良いです。高齢者への補助が有るように青年の集まりにも支援が欲しい。

女性の団員がいることを初めて知りました。

どんな時にどんな活動をしているのか。知らないことが多いです。広報で特集をするなど、もっと内容を知りたいと思いました。

報酬、手当等の処遇が改善されないと消防団への加入は増えないと思います。

引き受けて下さっている方々に感謝しています

現実的にただ大変だと言う事しか分からないのでもっと広報活動をしたら良いかと思う

消防団員の人だけでは無く、地域のひとりびひとり(各家庭に1人)が、応急処置等が出来るようになれば、まさかな時に、とっても役に立つと思います。

皆さんの都合等を考えると、大変難しいとは思いますが、消防署まで行かなくても、それぞれの地域で講習会等を行事がある毎に計画していき自分達のは、自分達で守る精神が、浸透していけば良いのにと 생각합니다。但し残念ですが、高齢になって来た為、なかなか覚えていられなくなって来た為、是非、若い人たちを対象に計画していただいた方が確実だと思います。

特にないが、いつどこでどんな活動をしているのか、どこに申し込んだりしたら良いのか等、詳細を知らない人が多いと思う。興味をもつきっかけもないと思われる。

・自治区組長会の会合で消防団員をやってくれる人がいないので誰かいませんか？と区長からの話がでましたが誰も手は挙げませんでした、今まで登録されていた方は自治区が違うのに了解してくれていたとの事・・・

400人弱の区民で一人の消防団員を登録するのがなかなか大変な実態に少し驚きました、その時は60歳を過ぎていた自分は流石に手は挙げられませんでした。

・私自身消防団のイメージは地域の若い者の仲間繋がりです。入団して、ホースを担いで走ったり、土嚢袋を積んだり等、体力勝負の仕事で土曜の夜は宴会・・・の数十年前のものしかありません。

1.アンケートにもあった様に消防団に関する情報が意外に少ない、年長者、女子の活動・・・

2.野球、ソフトボール等地域のクラブ活動が消滅している現実と消防団員のなりてがないのも同じ？特に集団活動の苦手な人が多い現実をどう対処していくか？

3.ボランティア活動とのコラボ企画等

もう少し広く周知させる必要があると思う。

どんな事をやっているのか、どのくらい活動に時間を割かれるのか明確にすれば、参加できる人も増えてくると思う。

消防署と消防団の区別の明確化（私だけが知らないかもしれない）

旧態依然のように思われるこの活動は本当に必要か??

プロの人材に任せれば良い。

普段消防団に接することがない、消防団かどうかも知らない、また、デメリットの認識しかないので、実のところ必要性がわかりません。今の時代消防団が必要なのか、代替えのものがあるのか検討してもいいと思います。

活動が見えない状況です。無くても良いのではないか？

1, 出初式で何回か拝見いたしました。演技披露までは、日々の相当な訓練がなされたのだらうと思います。

2, 地域のイベント等では、交通整理対応でご苦労様とおもっております。

3, 年一回の防災訓練では、救急救命士の訓練や・指導でありがたいな一と思っております。

いまいち、何を目的として結成されていて、誰がどういう活動をしているのかがよくわからない。活動費の集金に回ってくるのですが、それも不信に思ってしまう。豊田が地元の、普段から交流がある人たちで代々結成されていて、知り合いがいないと入りにくそうだな、という印象もある。

献身的な活動に感謝しています

| |
|---|
| 一緒に活動する仲間を増やしたい |
| 広報指導部内に消防団をPRする隊を作りたい |
| 消防団の活動内容について広報しても良いのでは？ |
| いつもありがとうございます。感謝しています。 |
| 近年、地域交流が乏しくなっていますが、若者の地域の住民同士の交流があれば町が活気付くと思います。ただし、それは消火活動のためというより、地域の防災の目的としたもののほうが良いと思います。火を消すだけでなく、普段から地域のつながりを意識した防災活動を進め、いつも誰かが先導を切って、大きな災害の時に活躍する町づくりができると思います。消火活動は消防署の役目だと思います。 |
| 女性は仕事だけでなく子供や孫、お年寄りの面倒があるので、家にいるときにどのように動けばいいかいつかの行動を知っていることなどが大事だとは思いますが。消防団として動くためには訓練もいると思うのですが、今は若い人だけでなく遠くで働いている人もものいるので、仕事に影響がない時間をどのように作れるかわかりません。地域の年齢層も働き方も変わって、昔からある消防団の考え方ではできないように思います。地域の防災活動を考えるなら、年齢や性別など関係なくできる方法を考えないといけないと思います。 |
| 強制参加等の悪いイメージが先行しており、若者が入りたがらない雰囲気できてしまった。ボランティアという形にせず、予備自衛官みたいな半正規職員のようにした方がいいと思う。 |
| 消防団は「自助、共助、公助」の「共助」の部分と思うので、一般住民に寄り添い、できないことのある人を助ける立場で活躍してほしい。消火活動（補助的な部分でなく）などはそれを仕事としている人たちがいてやってくださると思う。 |
| 消防団に限らずボランティアなどで関わるものが増えていて、私の周りではほとんどの人が何かに携わっている。協力したくても物理的に難しい状態でもあると思う。 |
| 厳しさだけではなく 息抜きがある楽しみも 重要な項目です。 |
| フェスタや演奏などに行き、参加されている方には、とても良いイメージがあります。 |
| しかし、昔の事だとは思いますが、飲み会が頻繁にある、酒を飲まされる、皆で風俗に行くなど悪い慣例があるとも耳にした事があるので、実際はどうなのかとも思ってしまいます。 |
| なので、学生が参加したり、地域の子供会と合同で何かしたりなどすると意識を持った子供達が育つのでは？と思いました。 |
| もっと実態を広く広報すべきである。もっと魅力ある仕事と社会的に認知される様に抜本的に待遇改善すべきである。 |

いつも町内行事等でも活動していただきお疲れさまです。とても感謝しております。ありがとうございます。

なかなか人も集まらないなか、大変だと思いますが地域のためにもよろしく願いたいします。

有事が発生した時に頼りになりますし、日ごろ（平時）の活動が、私たちの日常生活にとっても役に立っていることは認識していますが、なかなか普段の活動を知る機会が少ないですよね。可能であれば、地域（自治区）をまわって、「有事の時に私たちが出来ること・やること」「平時における日ごろの備え」についてレクチャーいただいたりしていただけると、より身近な存在になるのかな。と思います。でも、そうすることで消防団の方の負担が増えてしまうと思うと、本当に有意義な活動になるのか、よく考えないといけないとも思います・・・

消防団の必要性が分からない。ないとどうなるかをまずは考えるべき。

頑張っって欲しいです。

フルタイムで普通に働いている30～50代の男性が入団するのは、自分の時間や家族との時間がなくなるので、難しいのかなと思います。

自由が効く学生や早期退職したまだ動ける男性、独身の人に参加する方が時間も自由に使えるし、社会から必要とされる喜びも得られるし、本当はそれが良いと思うのですが。

そういう人達が志が高く、消防団に興味を持つかどうかは課題ですね。悲しい事ですが、結局は報酬が発生しないと…というのが現実なのかと思います。

大切な役割とは思いますが、自治会活動と一緒に、今の時代、忙しい現役世代はなかなか参加することが難しい状況です。若い力も必要でしょうが、時間や経済的に余裕のある元気な高齢者にも活躍していただきたいです。

大変な仕事をしていただきありがとうございます。

地域防災の必要性や、日頃からの地域のつながりなど消防団の重要性は感じるが、近年の雇用の不安定さや物価高などで手放しに家族が入団するとなると考えてしまいます。

昔から地区に住んでいる人がやっているイメージ。

仕事やプライベートとの両立が難しそう。

プロの消防士がいるのに装備面でも大きく劣る消防団を維持する必要はどこにもないと思う。消防団について消防職員に聞いてみたらいいと思う。

名前しか知らなくて実際どんな活動しているかはほぼ知らないし興味もなかったのので、活動がもっとわかるようにしたり興味が出るようなイベントがあるといいと思います

頑張ってください。

消防団の使命が曖昧だと思います。

基本的に活動は、ボランティアだと思いますが、何かPRイベントに参加する時は、例えば交通費や昼食代などの支給が妥当かと考えます。

消防団の仕事は大切だとは思いますが、家族がやるとなると週末に訓練などがあり、子供が淋しがりそうだと考えすぎてしまう。

消防団の活動は地域を支えており必要なもので団員の皆様には感謝していますが、やるのは大変だと思います。人数が集まらなくて、辞めたくても辞められないイメージがあります。もっと気軽に活動を知る機会があればいいと思います。

コロナ禍前のことですが、報酬は消防団に渡していました。今は分かりません。

年1回の消防団の旅行も費用が高く感じています。貸し切りバス代かもしれないけど、詳細が分からないため納得はしていません。幹部?になると、行けなくても費用は返ってこないようです。

活動はしっかり内容のあることをやってくれていて、社会貢献もできていると思っています。たまの羽目外しも必要かもしれませんが、家族として快く送り出せない気持ちのときもあります。

わたしの地域でも婦人消防団があり、かつて私も団長を務めたことがあります。

町内の行事の参加や、出初式等の出席がおもでしたが、よい思い出になりました。

男性の消防団の方はイベントごとによく参加してくださっています。

先日の地域のお祭りの時も交通整理等してくださっていました。

おかげで無事に町内のイベントもスムーズに完了しました。

ご自分の休暇を町内に下さって感謝でした。

地域のイベント時、交通整備等していただき、ありがたいと思っています。

私自身、消防団の日々の活動内容と活動量を知らないなので、市民が気軽に消防団活動の体験ができる場や楽しみながらできる活動を企画し、市民への知名度をあげて、入団へ繋げていくのは…と思いました。

地域のつながりが希薄なので、なかなか難しいと思う。

当番制にしたり、報酬つきにしたりしたほうがいいと思う

皆さん志しがすごいと尊敬しています。

自分からがやりたいとは思いません。負担が大きいからです。

飲み会ばかりやってるイメージ

公務員の消防士、自治会の組織があるので、消防団はいらないと思います。

PRが足りないと思います。

どこでどんな活動してるのか、すみませんが見かけたこともありません。

素晴らしい活動なのにもったいないです。

自分の住んでいた地域には「消防団」がなくて、その実態をほとんど知りません。

個人的には、知らなくて済んで、よかったと思っていますが、山間地等、消防署から遠い地域に住む人には、必要な仕組みかと理解はできません。

消防団員のホンネ：消防団員の報酬1年半未払い 「嫌なら辞めて」音声データ入手 | 毎日新聞

<https://mainichi.jp/articles/20231006/k00/00m/040/104000c>

上記の様な旧態依然とした体制や対応、

報酬の少なさ等、問題点が多数存在していると感じる。

私や兄弟や子どもも消火や救護など消防団活動に関心はあるし協力もしたいが、本来の活動以外の飲み会やパワハラ的な上下関係とかを強制されるのが面倒だと思い、入団は躊躇します。勧誘時はそういう事には触れないけど、実際入団してみたら、断れない上下関係性とかあると聞くので…。

過去に数年間だけ経験しましたが、はっきり言って寄せ集めで、ちゃんと教育を受ける機会が少ないと感じた。

一部の間人御身が教育を受けて、指示に従うといったやり方では、命令系統はしっかりするかもしれないが、有事の時に一人一人が考えて行動するという意味では不十分な気がする。